

2022

# じょいんと通信

1月

謹賀新年

第190号・湘南鎌倉人工関節センター・2022年1月

新しい年を迎えました

本年もどうぞよろしく願い申し上げます

## 2022年 新年の所感

2004年に当センターを開設し、18年目になりました。人間が生まれて満17歳。来年は大学受験か（日本か、海外かの選択も最近では「あり」ですね）、手に職を付けるために専門学校か、あるいは就職か？という選択が迫られる時期と重なります。開院以来、1万件にせまる初回の人工股関節手術を行ってきた中で、ひたすら合併症を起こさないようにと戦いを続けてきました。海外ドクターたちと一緒に最小侵襲人工股関節手術のために開発した人工関節も6500関節を超えました。様々な理由で取り換えなければならない再置換手術は1.3%に抑えられています。一般には7-8%の合併症率といわれますから、スタッフ全員の努力の甲斐あって一般病院の1/6程度に低く抑えられています。しかし、個人個人に取れば再置換は大きな決断でもあり、手術の合併症は患者、医療スタッフ両者にとっても悩みの種です。これからもさらに合併症を減らせるように努力してまいります。本年もよろしくお願いいたします。

院長 平川 和男

新年あけましておめでとうございます。

今年はどうな1年になるのでしょうか。ここ2年近く、私たちは新型コロナウイルス感染症との戦いを続けています。昨年末から緊急事態宣言も解除され、少しずつですがいつもの日常生活に近づこうとしています。今後も緊張した日々は続くのだとは思いますが、明るいきざしがみえてきています。当院も少しずつ前進できる年にしていきたいと考えています。

昨年から、看護部では、入院患者さんへ応援の気持ちをこめてタオルで作ったウサギの置物を病室に飾らせていただいています。

ウサギは縁起物で、「飛躍する」「長寿の神様（薬の神様）」「危険回避の象徴」「夫婦円満」「商売繁盛」などの意味があるとのこと。入院した患者さんに少しでも緊張した気持ちを和らげる効果があれば幸いです。今年も心をこめて、患者様に看護や医療を届けていきたいと思っております。

総看護師長 工藤 留理子



## 院内クリスマス会を開催しました



12月16日(木)、入院患者さん向けにクリスマス会を開催しました。

演奏は、横浜市栄区を中心に活動されている、「栄ゾリスエンカルテット」の皆さんです。グループ内の方が当院で昨年手術をされヴァイオリン奏者である事を知り、クリスマス会のお話をしたところ快くお引き受け下さいました。

当日、6曲の演目を用意して頂き、2階の待合スペースは美しいヴァイオリン・ヴィオラ・チェロの音色に包まれました。クラシックは鎮静効果もあり睡眠前にゆっくり耳にするのも良いかもしれませんね。千原さんありがとうございました。



▼発行元：  
湘南鎌倉人工関節センター  
〒247-0061  
神奈川県鎌倉市台5-4-17  
電話：0467-47-2377  
FAX：0467-47-2370

▼2021年12月手術件数  
(単位:件)  
人工股関節置換術：49  
人工股関節再置換術：0  
その他：1

▼1月外来休診日  
なし

<https://www.skjrc.jp/>